

学年	3	週単位時間数	10	年間単位時数	350	授業集団	学科	使用教室	木工科実習室
資質・能力	(情)情報を収集する力 (コ)コミュニケーション力 (他)他の人を理解する力 (自)自己を理解する力 (協)協働する力 (地)地域で生活する力								
目標	① 知識及び技能 ② 思考力・判断力・表現力等 ③ 学びに向かう力、人間性等								
① 木材の性質を理解し、用具や機械を適切かつ安全に使用して、製品を正確に製作する技能を身に付ける。 ② 製品の用途や工程を考え、仕上がりを良くするために、製作の進め方や改善の方法を考えることができる。 ③ より良い製品作りを目指して粘り強く取り組むとともに、役割分担や相談を通して主体的に協力し合う態度を養う。									

学習計画			
月	学習内容(何を学ぶか) 関連する資質・能力の表示 関連教科は★付けて表示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)
4月	「オリエンテーション」(自)(地) 「学科歓迎会」(他)(協)	・1年間の学習に見通しをもつ。 ・作業の流れや製作手順の徹底を図る。 ・同じ学科の新入生を迎え、上級生としての意識を高める。	・手本を示しながら教師と一緒に取り組む。
5月	「道の駅販売会に向けて」 (コ)(自)(協) ★国語、数学、社会、情報、 ライフキャリア	○製品製作 ・様々な技法を覚え、応用する。 ・報告、連絡、相談の必要性を理解し、実践する。 ・他の生徒と協力し、進んで助け合う。 ・安全に気を付ける。 ・丁寧にすばやく作業する。 ・自分の仕事に責任をもつ。 ・製品の品質向上に努め、製作に取り組む。 ・工程を理解し、必要な道具や作業内容を自分で考えて作ることができる。 ・他学年との合同作業を通し、自信のある事を伝えたり見本を見せることで、技術の定着を図ったり、下級生との関わり方を学んだりする。	・他者に教えたり、教わったりしながら、技術の向上を図る。 ・同じ課題の解決に向けて、言葉を掛け合いながら作業を進める。 ・分担作業に取り組むことで、与えられた役割を果たす責任感を身につける。 ・販売会に向けて、販売製品や役割分担、宣伝方法等について、生徒が主体となって検討を行う。 ・よりよい製品製作のために、何が必要かを教師が問い掛け、考える習慣をつける。
6月			
7月			
8月	「終日作業」(自)(地) ★ライフキャリア	○販売会 ・正しい接客や接遇の仕方を身に付ける。 ・製品の作り方や使用方法などの紹介ができる。 ・お金の取り扱いについて学ぶ。 ・製品の魅力が伝わるポスターを作成する。 ・達成感や自己有用感を育てる。 ・流通のしくみを学ぶ。	
9月	「現場実習」 ★ライフキャリア		
10月	「学校祭に向けて」 (コ)(他)(協) ★国語、数学、社会、情報、 ライフキャリア		
11月	「卒業製作」(自)(協) ★ライフキャリア	○終日作業 ・長時間、継続して毎日働くことを通して、自分の課題を知り、課題解決に取り組む。 ・主体的に作業に取り組み、これまで培った働く力の定着を図る。 ・終日作業を通して仕事を任される責任と、目標を達成した際の喜びを知る。	
12月	「学科送別会」(コ)(協)		
1月			
2月			
3月	「まとめ」(自)(地)	○卒業製作 ・学校で役立つ製品の製作に、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 ・製作する製品や工程などを自ら考え、作業することができる。 ・仲間を信頼し、言葉を掛け合いながら共同作業をすることができる。	
通年	「全学年合同作業～立て看板」 (コ)(他)(協)(地) 「外部受注」(他)(地)		

評価の観点	① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力等	③ 学びに向かう力、人間性等
① 様々な技法を身に付け、製品を製作することができたか。 ② 消費者の需要を考えながら、生産者の視点で販売会に向けて準備を進めることができたか。 ③ 共通の課題解決に向けて、主体的に他者と関わることができたか。			

